

平成24年度保護者アンケート実施状況報告書

青森県立八戸北高等学校

本校では、「地域に信頼される学校」を目指し「よりよい学校づくり」に資するために、教育活動その他の学校運営に対して保護者の方々から評価をいただき、その結果を基に学校改善を図る学校評価システムを導入しています。

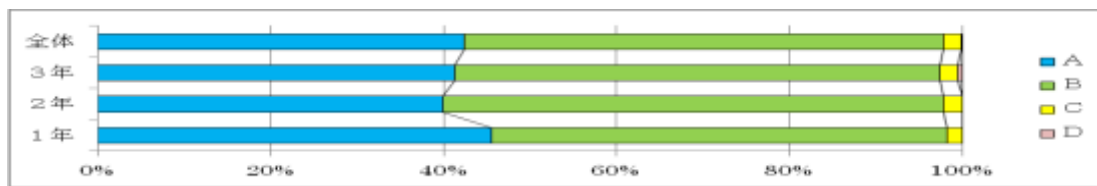
平成24年12月に実施した保護者アンケートの結果を掲載しましたのでご覧ください。評価項目は、学校運営に関するもの、教育活動（教科指導）に関するもの、教育環境等に関するものの、大きく3つに分け、それぞれの達成状況を次の4段階で表しています。

A（そう思う） B（どちらかと言えばそう思う）
C（どちらかと言えばそう思わない） D（そう思わない）

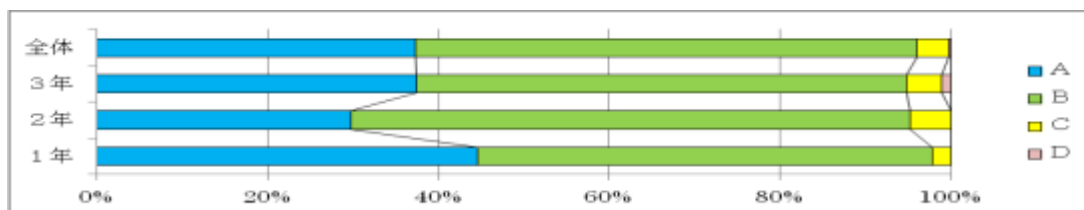
今回の結果では、AとBの割合について学年間で若干の差がある項目もありますが、AとBを合わせた肯定的な回答が80%を下回った項目はなく、学校全体として、概ね高い評価を得ております。今回の結果を十分に検討し、次年度の学校運営並びに学年経営に生かして行きたいと思っております。なお、今年度のアンケート提出数は669、回収率は93%（昨年95%、一昨年88%）でした。保護者の方々のご協力に感謝申し上げます。

1 学校運営

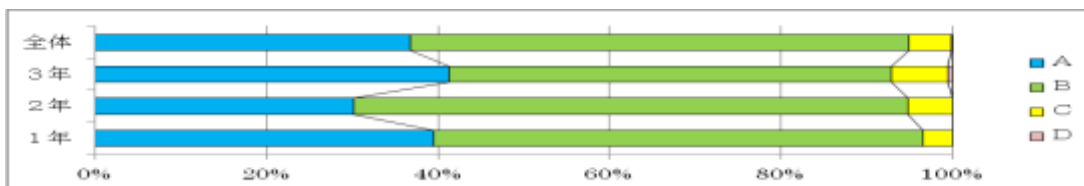
- ① 学校教育目標（※p.4の参考資料Ⅰ参照）が、生徒や学校の実態や社会の要請に即したものになっている。



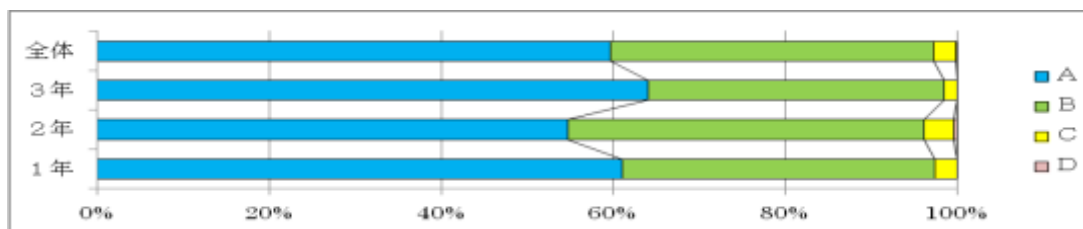
- ② 重点目標（※p.4の参考資料Ⅱ参照）を達成するために、教職員が一致協力し、円滑な学校運営がなされている。



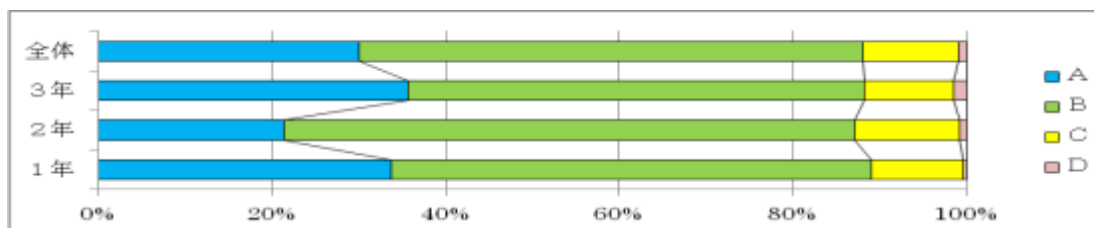
- ③ 生徒が生き生きとして充実した高校生活を送れるような学校づくりに努めている。



④文科省指定スーパーサイエンスハイスクールを核とした特色ある学校づくりに取り組んでいる。

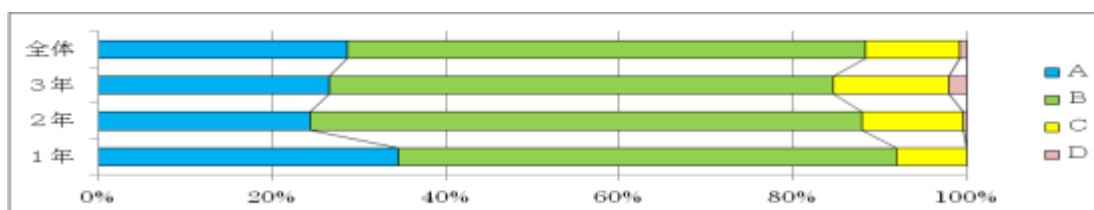


⑤学校や学年の教育目標や指導計画等が、分かりやすく説明されている。

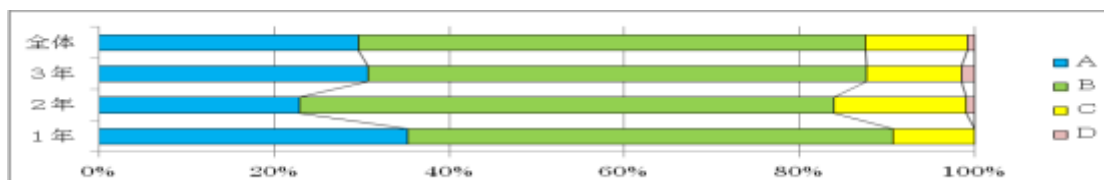


2 教育活動（教科指導）

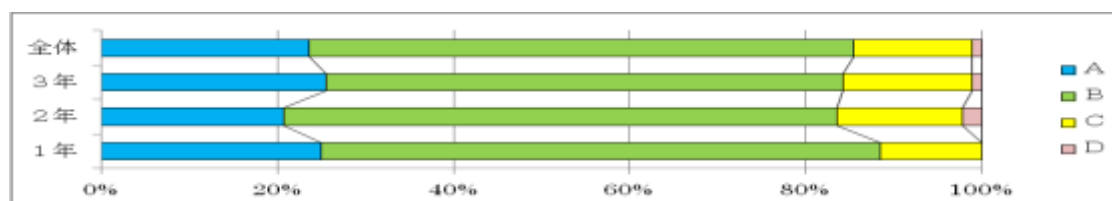
① 生徒の進路や興味・関心に配慮した多様な選択ができる教育課程の編成がなされている。



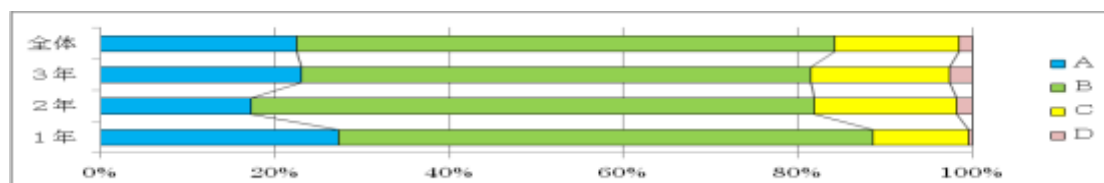
② 生徒の進路志望の実現を目指し、わかりやすくかつ学力のつく学習指導が実践されている。



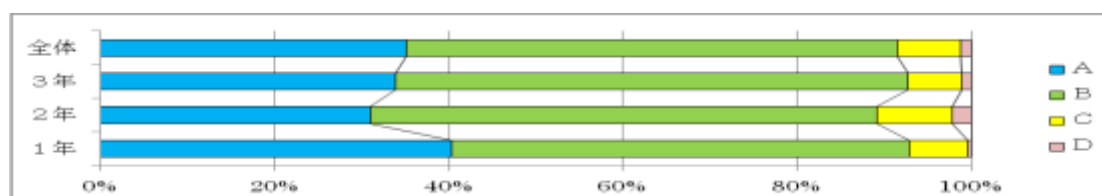
③ 学習の評価方法が、保護者や生徒に分かりやすく説明されている。



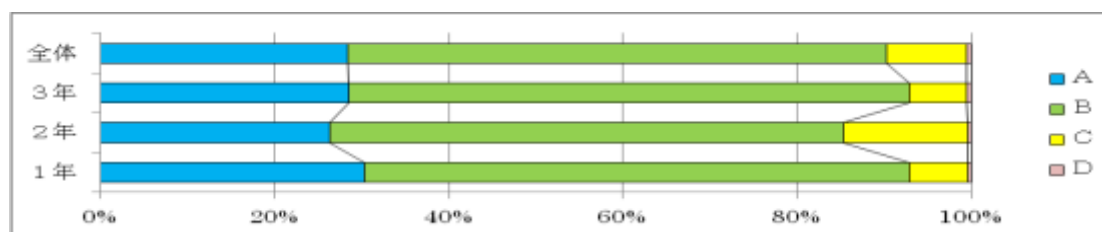
- ④ 生徒の進路選択・決定にあたり、情報の提供や、保護者と連携した適切な指導がなされている。



- ⑤ 学校行事や部活動を通して、生徒が自主的・自発的に活動し、個性を発揮できるような指導がなされている。

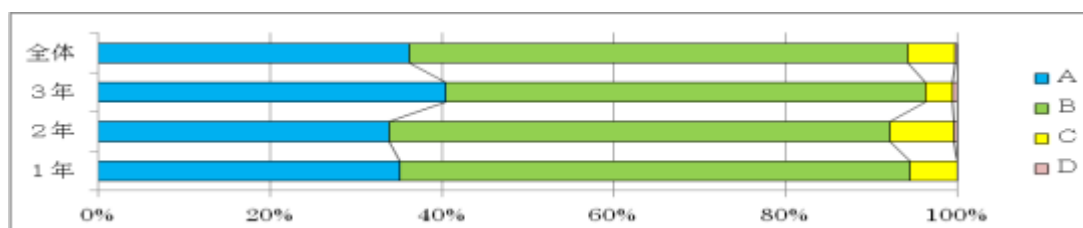


- ⑥ 生徒の服装や挨拶、言葉遣いなどがきちんとしており、基本的生活習慣を形成する指導が実践されている。

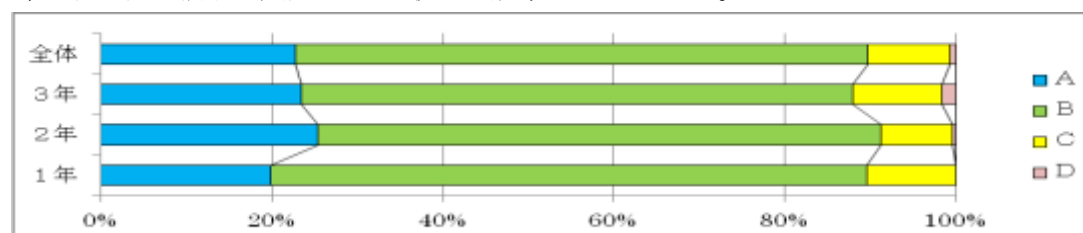


3 教育環境・その他

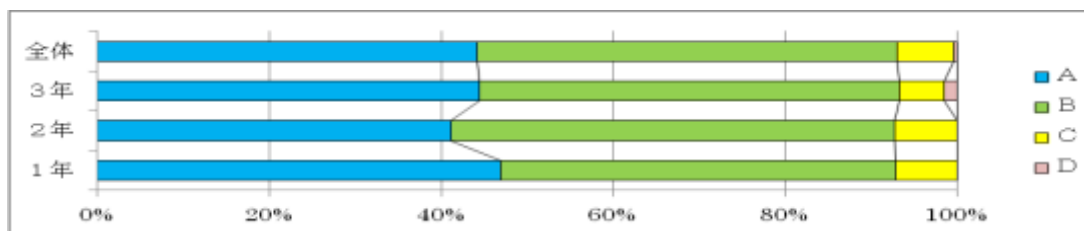
- ① 生徒の事故・怪我・病気に対して、家庭と連携した対応が適切に行われている。



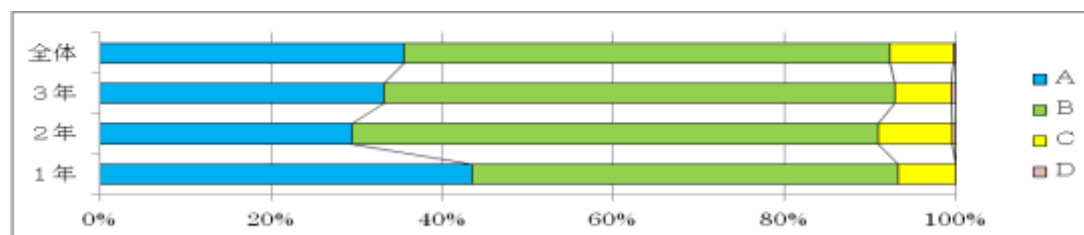
- ② 生徒一人一人の悩みや相談に応じた親身な指導がなされている。



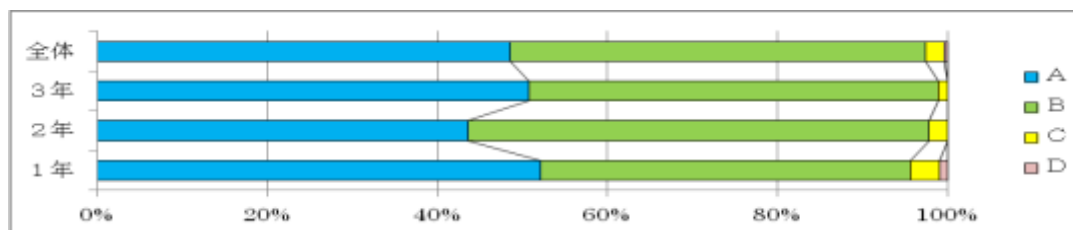
- ③ SSHの活動内容が、学校ホームページ、文化祭展示、課題研究の発表会（日本語・英語）、「SSH NEWS LETTER」、新聞報道等を通して周知されている。



- ④ PTAの集まりや学校HP、さらには配布物等によって学校の様子を伝える努力がなされている。



- ⑤ 副教材費や学年費等の納入金について、その趣旨や会計報告が分かりやすく説明されている。



※参考資料

I【学校教育目標】

- ① 自主的精神に充ち、豊かな教養を身につけた人間を育成する。
- ② 個人の価値を尊び、敬愛の念をもち、協調性に富む人間を育成する。
- ③ 常に全体の一員であるという自覚をもち、責任を重んずる人間を育成する。
- ④ 心身の健全なる発達を図り、公正なる判断力を養い、進んで実行する人間を育成する。

II【24年度重点(努力)目標】

- | | |
|---------------------|----------------|
| ① 学習指導の充実 | ② キャリア教育の推進と充実 |
| ③ 理数教育の推進 | ④ 生徒指導の充実と道徳教育 |
| ⑤ 心身の健康保持と環境整備 | ⑥ 保護者・地域との連携 |
| ⑦ 危機管理意識の向上 | ⑧ 職務遂行上の心構え |
| ⑨ 創立50年記念行事・記念事業の成功 | |

最後に、寄せられたご意見やご要望等について、下記のとおりお答えいたします。紙面の都合上ご意見は簡潔に項目立てしておりますことをご了承ください。

なお、意見等の総数は42件（1年20件、2年11件、3年11件）でした。

【生徒指導関係】

○登下校の公共マナーに対する指導の徹底をお願いしたい。【1年】

今年度、外部の方々からの苦情電話で特に多かったのが「自転車や歩行のマナー」についてです。通学・通勤時の交通量が多い状況下で、狭い道路を自転車で並走したり、横3列4列になって歩いたり、また横断歩道が近くにあるのにそれを使わないで車道を横断するのは、危険なことです。実際、全教職員が分担して実施している毎朝の登校指導（保護者の皆様にもご協力いただいて、年数回実施）や生徒指導部を中心とした見回り指導等で注意を受ける者もいますし、再三にわたり全校集会及びホームルーム等において全生徒への注意喚起を行い、当該生徒への個別指導も行っております。

学校としましては、今後も、公共マナーやルールの遵守を含めた基本的生活習慣の確立に向けて、粘り強く指導に取り組んでまいりたいと考えておりますが、ご家庭との共通認識による協働体制が不可欠であります。改めましてご協力をお願いいたします。

○仕事や面談等で学校を訪問した際に挨拶する生徒が少ないことに驚く。【1年】

本校では、前述のとおり、朝の登校指導を行い、担当教員が生徒たちに挨拶、声掛けをするように努めています。学校としましては、挨拶を含めた基本的生活習慣の確立はキャリア教育的な観点からも極めて重要と考えており、普段から生徒たちに意識的に挨拶、声掛けをするように努めておりますが、今後は、全教職員共通理解のもと、挨拶・礼儀作法についての指導をより積極的に行ってまいりたいと思います。

○携帯電話の使用についてどのように指導をしているのか。【1年】

携帯電話・スマートフォンについて、校内への携行は認めています。ただし、次のような利用上のルールがあります。①登校時は電源を切り、バック等にしまう。②利用できるのは、帰りのSHR後で、他人の迷惑にならない場所においてである。③誹謗・中傷の書き込みはしない。④ルール違反や不適切な使い方がある場合には、一時的に預かり、保護者へ連絡する。なお、携帯電話・スマートフォンの未成年者による利用には、コミュニティサイトで被害に遭う等の、大きなリスクを伴うこともあるため、フィルタリングなど十分な対策が必要と思われます。ご家庭でもご理解ご指導のほどよろしくお願いいたします。

○制服の上に冬のオーバー等を着て通学するのは駄目か。【2年】

冬期間の防寒具については、華美なものを避け、質素端正なものとするとし、制服の上にオーバー等を着用するのは認めています。健康管理の面からも、制服の上にオーバー類を着用して体温調整するのは望ましいことと考えます。また、冬になると制服の下に着ているカーディガンが長すぎて見苦しいというご意見もありました。これについては、内側に折り込むなどして、はみださないように着用するよう指導しています。

【その他】

○新しくできたトレーニングルームを一般生徒も利用できるような環境づくりをお願いしたい。

【1、3年】

平成23年12月に完成した生徒会館のトレーニングルームは、現在、主に運動部が部活動の一環として利用しています。一般生徒については、完成当初の利用状況が思わしくなかったことから、平成24年度は利用を認めませんでした。

平成25年度にはトレーニングルーム運用委員会を新たに設置し、一般生徒が利用できるような体制づくりについて検討してまいります。

○SSHに関して提供される情報は多いが、その他の生徒の活動状況についてももっと知らせしてほしい。【1学年】

SSH事業の活動が報道で取り上げられる頻度が高いため、「北高＝SSH」という印象が強くなりがちなのは否めません。本校ではSSH以外での多くの活動にも取り組んでおり、その様子を、「学年だより」、「北高新聞」（生徒会新聞）、「おらんど」（生徒会誌）、「保健だより」、「進路だより」、「叡智の瞳」（図書だより）、「北」（八北高PTAだより）等でお伝えしております。さらに、本校のホームページでも、学校の状況等についての情報を掲載し、随時更新しております。

今後も上記の発行物の紙面及びネットを活用して、学校の様子及び生徒の活動状況についての情報発信に努めてまいります。なお、紙媒体の情報については、HRで生徒を通じて配付されるケースが多くなりがちです。ご家庭でも時折、学校からの配付物の有無についてご確認いただければ幸いに存じます。また本校のホームページの「保護者の皆様へ」のページには、生徒全員及び保護者の皆様への配付物の一覧が掲載されておりますので、そちらでもご確認ください。

その他にも、正確な実態把握のために、アンケートの回答に「わからない：0」の項目を加えるべきというご意見がありました。また、「部活動の指導」、「道德教育（自由と自分勝手の区別）」、「教職員の指導および学校の体制」等に対するご意見・ご要望もありました。これらのご意見・ご要望は真摯に受け止め、次年度に向けて検討を重ね、改善に努めてまいります。一方、次のような温かい励ましのお言葉も頂戴いたしました。

○生徒が目標に向かって頑張っていける環境づくりをこれからもよろしくお願いいたします。いつもご指導ありがとうございます。【1年】

○創立50年記念行事、特に成田高校との招待時代では成田との調整などご苦労されたことと存じます。子供を見ますと、招待試合や交流を通じて大きく成長したように感じております。ご尽力いただいた先生方に心から感謝いたします。【2年】

○もう来春卒業する子を持つ者です。1年の前半は勉強についていくので毎日が精一杯としんどそうでしたが、それも言わなくなり、先生方が授業や小テスト等、とても工夫なさっているという言葉聞くようになりました。登校を嫌がる素振りも見せず、子供なりに充実した高校生活を送れたかな、と思っています。素晴らしい校舎と素晴らしいスタッフの中で、幸せな3年間を送れたことを感謝いたします。【3年】

今後とも、保護者の皆様や地域の方々のご意見やご協力をいただきながら、本校の教育計画や教育活動のさらなる改善・充実に努めてまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。